

青森県企業「倒産リスク」分析調査（2024 年）

倒産リスクは高止まり

～「建設業」は 367 社 が高リスク、前年比 23.2%増～

企業が 1 年以内に倒産する確率を 10 段階のグレードで表す指標「倒産予測値」（※）算出の県内約 1 万 7600 社のうち、2024 年 12 月時点における高リスク企業（グレード 8～10）は全体の 8.8%にあたる 1549 社であった。特に「卸売業」は件数が多く 430 社、ついで「建設業」が 367 社であった。

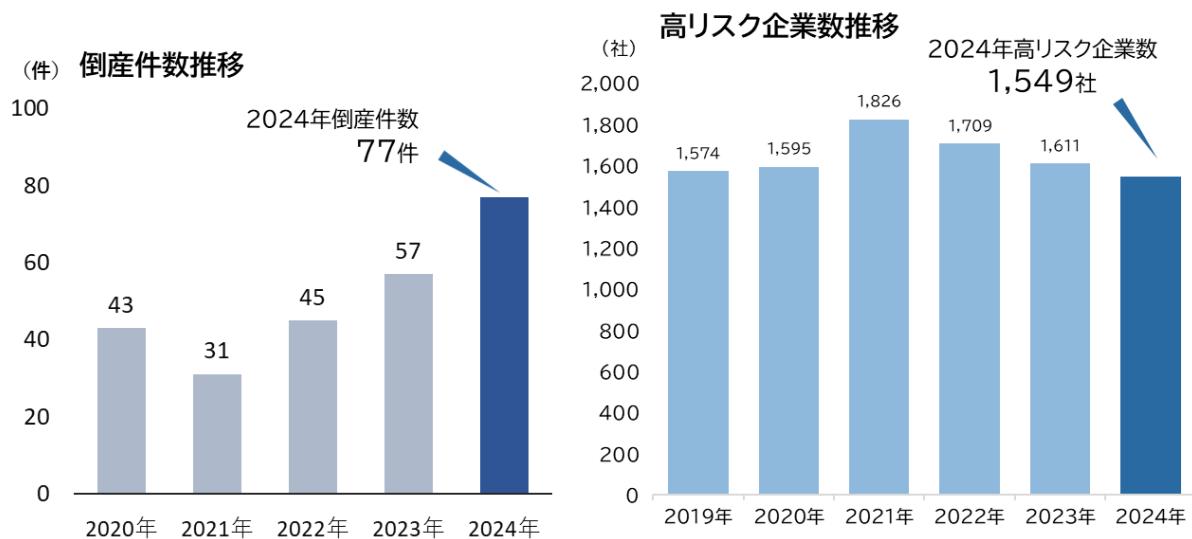
※倒産予測値とは

- ・ 倒産予測値とは「今後 1 年以内に倒産する確率を個別企業ごとに算出」したリスク指標
- ・ 現地現認の信用調査と、独自のネットワークによる変動情報などを集積したビッグデータから、倒産に関係が深い要素だけに焦点を当て、独自の統計モデルにより算出
- ・ 個別企業ごとに予測したリスク指標を G1～G10 の 10 段階のグレードに設定しており、G1 が最も倒産リスクが小さく、G10 が最もリスクが高いグレードとなっていて、グレードが高いほど実際に倒産が発生している

倒産リスクが高い企業群は青森県で 1549 社

2024 年の青森県の倒産件数は 77 件となり、前年の 57 件を 20 件上回った。倒産件数は、3 年連続前年を上回り、2011 年以来の年 70 件台に突入した。

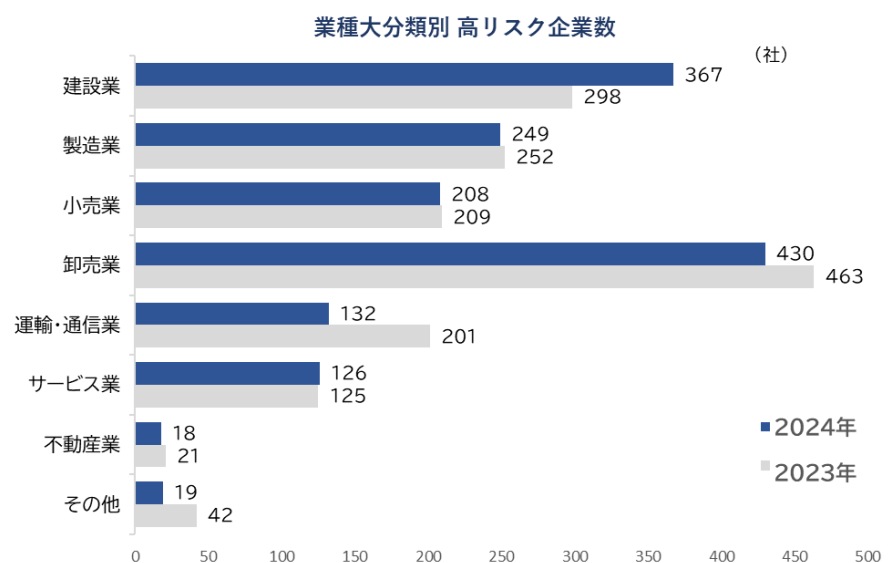
帝国データバンクでは、蓄積したビッグデータを活かして、企業が 1 年以内に倒産する確率を 10 段階のグレードで表す指標である「倒産予測値」を算出しており、特にリスクが高い企業（グレード 8～10）を「高リスク企業」ととらえ、その件数の推移などの分析を行った。倒産予測値算出対象の県内約 1 万 7600 社のうち、2024 年 12 月時点での高リスク企業は全体の 8.8%にあたる 1549 社であった。2023 年 12 月時点の 1611 社と比較すると 62 社の減少となったが、引き続き高い水準と捉えることができる。



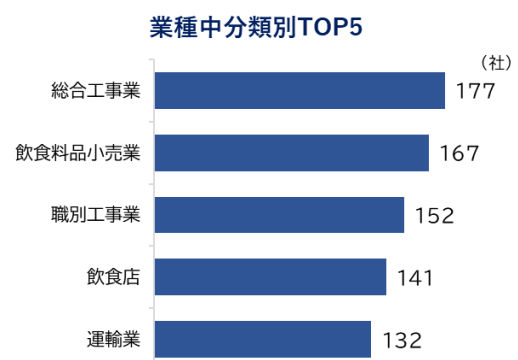
業種別では「卸売業」が430社で最多

業種別に高リスク

企業数を見ると、『卸売業』が430社と最も多く、前年と比較すると33社減少した。2番目に多い業種は『建設業』の367社であり、69社増加した。また『製造業』が249社と続いた。



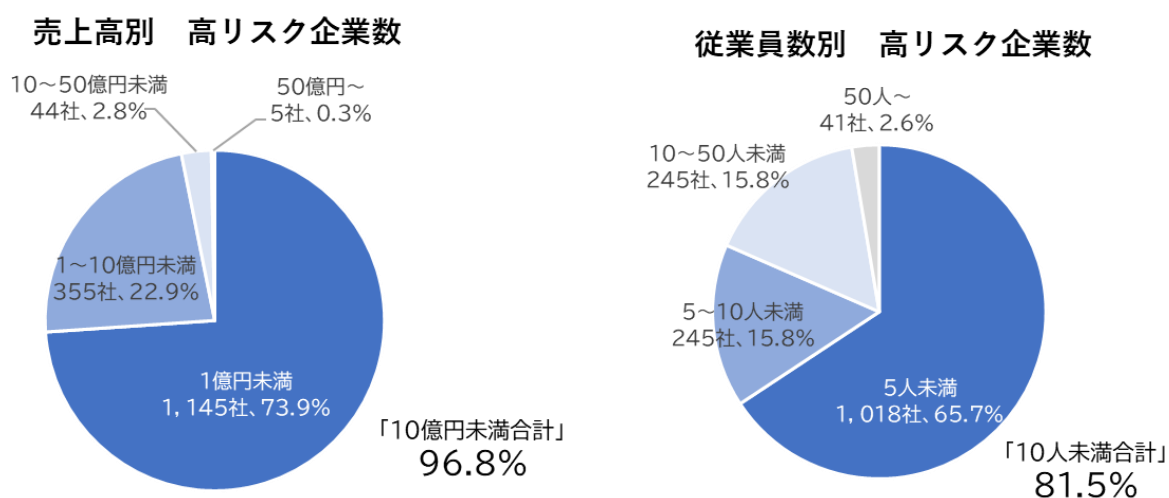
業種を細かくみると、『建設業』では、「総合工事業」が177社と最も多く、同じく建設業の「職別工事業」も152社と3番目に多かった。2番目に多かったのは『飲食料品小売業』の167社であった。以下、「飲食店」が141社、「運輸業」が132社と続いた。



売上高「10 億円未満」が高リスク企業の 9 割超を占める

売上高別にみると、「1 億円未満」が 1145 社と最も多く、続いて「1～10 億円未満」が 355 社であり、「10 億円未満」の企業で全体の 96.8%を占めた。

従業員数別も同様の傾向で、「5 名未満」が 1018 社と最も多く、「5 人～10 人未満」が 245 社と続く結果となった。



まとめ

倒産や休廃業件数は増加傾向を辿るなか、倒産リスクが高い企業数はやや減少した。アフターコロナにおける業績改善などもあり、企業全体の倒産リスクの上昇は抑えられていると考えられる。一方で小規模な事業者ほど、内部留保に乏しく、外部環境が激変すると急速に資金繰りが行き詰る傾向にある。また業種によっては、コスト高や人手不足など、取り巻く事業環境が厳しく、収益改善に繋がっていない企業も多く、同じ業種のなかでも、企業によって優勝劣敗が鮮明になっている感が強い。物価高や賃金上昇といった変化にいかにして適応するか、各企業の知恵と工夫はより一層求められる時代といえる。

（株）帝国データバンク 青森支店 徳永 博一

【 内容に関する問い合わせ先 】 TEL 017-776-5048 FAX 017-723-4414

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。